

マイクロン テクノロジー (MU)

【セクター】 半導体

信買

【市場】 NASDAQ

信売

【企業概要】

アイダホ州に本社があるグローバルな大手半導体企業です（DRAMやNAND等）。米国をはじめ、日本や台湾、シンガポールに研究開発拠点があります（FY25末）。26.2Qの売上高比率はクラウドメモリー・ビジネス・ユニット32.4%、コアデータセンター・ビジネス・ユニット23.8%、モバイル・ビジネス・ユニット32.3%など。テクノロジー別ではDRAMが78.6%、NAND21.0%、その他0.4%です。地域別では米国が64.5%、台湾15.2%、中国（香港除く）7.1%など。

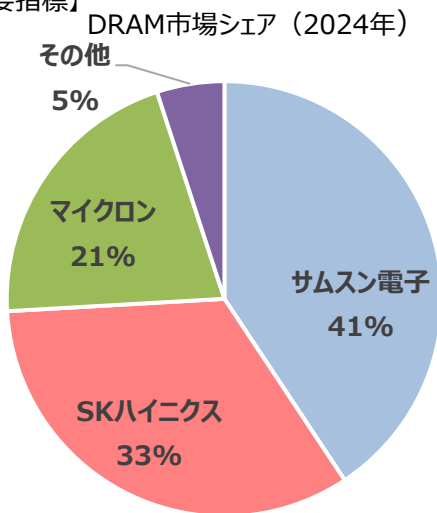
【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
24.8期	25,111	791	0.71	0.12	40.7	1.7	65.0
25.8期	37,378	8,700	7.73	0.46	48.3	17.2	65.4
26.8期（予）	103,270	63,010	55.07	0.56	102.6	65.1	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

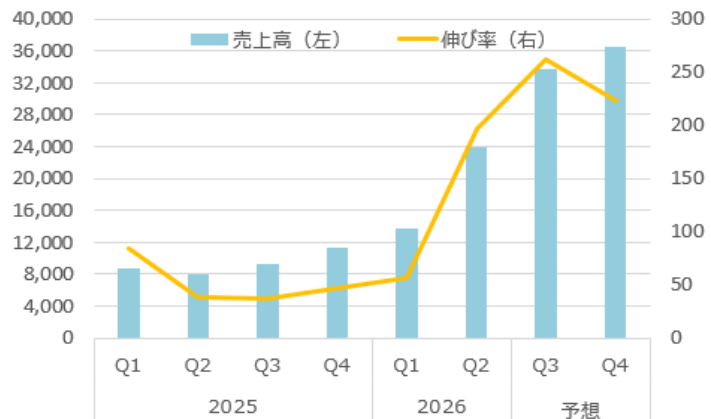
（出所）会社資料、BloombergのデータよりSBI証券作成

【主要指標】



（出所）BloombergデータよりSBI証券作成

売上高（百万ドル）と伸び率（%、前年同期比）



（出所）会社資料、BloombergデータよりSBI証券作成

【会社の見方】

売上高成長が続いています（25.3Q-26.2Qまで4四半期増収継続）。また、利益面もEPSが伸びており、ファンダメンタルズは良好です。特に市場から注目されているのはHBM（広帯域メモリー）で、同社は同製品をAI時代における戦略的資産と位置づけています。加えて、DRAM・NANDはそれぞれ前年比+206.5%、+169.3%の増収を達成。同社は、業界全体でも2026年暦年におけるDRAMビット出荷数量は年率20%超の成長が見込まれるとし、供給制約は2026年以降も継続する見通しを示しています。同社製品は競合品に対して電力消費の面で優位性があります。

【見通し・注目点】

26.2Qは、AI需要を背景に売上高が前年196.2%増の238.6億ドル、EPSは同682.0%増の12.2ドルとなり、いずれも市場予想を上回りました。一方で、設備投資額250億ドル超によるコストの先行や、粗利見通しの下振れなどは懸念材料です。26.3Qについても、HBMやデータセンター需要拡大により売上高335億ドル ± 7億5,000万ドルの見通しで、粗利益率は81.0%と更なる拡大を企業ガイダンスとして提示しています。ただし、需給緩和による価格下落や競争激化には注意が必要です。以上より、高成長の持続性に期待が集まるなか、メモリー需給とNPV（正味現在価値）が注目されます。

本レポートに関するご注意事項

- ・ご紹介する個別銘柄及び各情報は、投資の勧誘や個別銘柄の売買を推奨するものではありません。
 - ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
 - ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製または販売等を行うことは固く禁じます。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)、店頭CFD取引(SBI CFD)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示または契約締結前交付書面等をご確認ください。

株式会社SBI証券金融商品取引業者関東財務局長(金商)第44号、商品先物取引業者

加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会